

第132回 日商簿記検定試験 1級 一 会計学一 模範解答

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

第1問〔各②点、合計8点〕

	I 欄 語句の記号	II 欄 正しいと思われる適当な語句
1	○	
2	b	正味売却価額
3	b	減耗償却
4	d	試用販売における買取意思表示基準

第2問〔各②点、合計14点〕

(1)		203,400,000	円
(2)		289,480,000	円
(3)		14,392,965	円
(4)		105,000,000	円
(5)		350,000,000	円
(6)	(借 または <b>貸</b> )	54,888,000	円
(7)	( <b>借</b> ) または 貸)	400,000	円

第3問〔各①点、合計3点〕

(負ののれんの定義)

負ののれんとは、**取得原価が、受け入れた資産及び引き受けた負債に配分さ**

**れた純額を下回る場合における当該不足額** である。

(負ののれんの会計処理)

**負ののれんが生じた事業年度の利益** として処理される。

(そのように会計処理する理由)

**負ののれんは負債の計上要件を満たしておらず、その発生原因を認識不能な**

**項目やバーゲン・パーチェスであると位置づけ、現実には異常かつ発生の可能**

**性が低いことを根拠とする国際的な会計基準の考え方を斟酌したものである。**